

インクルーシブ保育のパイオニア どんこ会グループ 保育園の多機能化を推進 2023年春、新たに4施設オープン 「認可保育所」+「児童発達支援事業所」、さらに「放課後等デイサービス」+「学童保育」も

社会福祉法人どんこ会（本社：東京都渋谷区 理事長：安永愛香）は来春新たに4箇所の認可保育園および認定こども園を開園いたします。うち3園は、どんこ会グループがこれまでに推進してきた児童発達支援事業所との多機能化モデルであり、さらには小学生以上を対象とする放課後等デイサービスや学童保育を併設するモデルも展開いたします。2023年、どんこ会グループはインクルーシブ保育のパイオニアとして、この多機能化モデルをさらに発展させていきます。



同じ敷地、同じ屋根の下、年齢や障害の有無に関係なく、やってみたいことも、思い通りにならないことも、全て実際に経験する

（仮称）内質輪どんこ保育園

開所予定日：2023年4月1日

運営形態：認可保育園+児童発達支援事業所+子育て支援施設

定員：120名

住所：千葉県君津市南子安9丁目16番（以下未定）

周辺環境：広大な「君津市内みのわ運動公園」に隣接する好立地。また、同市内にある系列の宮下どんこ保育園とも近く、園同士の交流も予定しています。

主な特徴：公立保育園の民営化に伴う事業者公募において、どんこ会グループが推進してきた「認可保育園」+「児童発達支援事業所」+「子育て支援施設」の多機能化モデルという保育における新たな価値を提案し、採択されました。

(仮称) 香取台どろんこ保育園

開所予定日：2023年4月1日

運営形態：認可保育園＋児童発達支援事業所＋放課後等デイサービス＋学童保育

定員：90名

住所：茨城県つくば市島名字薬師台（以下未定）

周辺環境：つくばエクスプレス「万博記念公園」駅から徒歩10分。施設のすぐ隣には小学校が新設される予定です。また系列園の万博公園どろんこ保育園とも近く、園同士の交流も予定しています。

主な特徴：どろんこ会グループ初、「認可保育園」＋「児童発達支援事業所」に加え、「放課後等デイサービス」と「学童保育」も備えた多機能施設となり、これまでどろんこ会グループが培ってきたインクルーシブモデルの発展形ともいえる施設です。

(仮称) メリー★ポピンズ 海老名ルーム

開所予定日：2023年4月1日

運営形態：認可保育園＋児童発達支援事業所

定員：60名

住所：神奈川県海老名市めぐみ町3番1号ViNA GARDENS PERCH 5階

周辺環境：小田急線・相鉄線・JR相模線「海老名」駅から徒歩1分の駅前商業施設内

主な特徴：アクセス抜群の立地に加え、海老名市初の「認可保育園」＋「児童発達支援事業所」を併設したモデルとなります。

篠栗どろんこ保育園

運営形態：公立幼稚園を民営化し、2023年4月1日より認定こども園に移行

住所：福岡県糟屋郡篠栗町金出3562番地1

周辺環境：篠栗町は福岡市中心部まで電車で約20分のアクセスにありながら、豊かな自然に恵まれている土地です。

主な特徴：篠栗町立篠栗幼稚園を引き継ぎ、2022年4月に届出保育施設として新たなスタートを切り、現在は0歳児、1歳児、2歳児をお預かりしています。2023年4月より認定こども園に移行し、3歳児、4歳児、5歳児も受け入れます。どろんこ会グループとしては九州では春日どろんこ保育園、三筑どろんこ保育園に次ぎ3園目となる施設です。

どろんこ会グループは、2015年に初めて認可保育園と児童発達支援事業所の併設モデル（駒沢どろんこ保育園・つむぎ駒沢ルーム）を東京都世田谷区に開設しました。ただ隣り合っているだけの施設をつくるのではなく、同じ敷地内、一つ屋根の下で、子どもたちが共に活動し、生活できる「**真のインクルーシブ保育**」を実践する施設づくりに取り組んでいます。

これまでに東京都のほか埼玉県、千葉県、神奈川県、福島県に8箇所を展開してきました。2023年以降は上記の施設も加わり、この多機能化モデルをさらに推進、発展させてまいります。

すでに始まった保育所淘汰の時代において、この併設モデルは**保育所多機能化の先駆的事例**として注目されています。

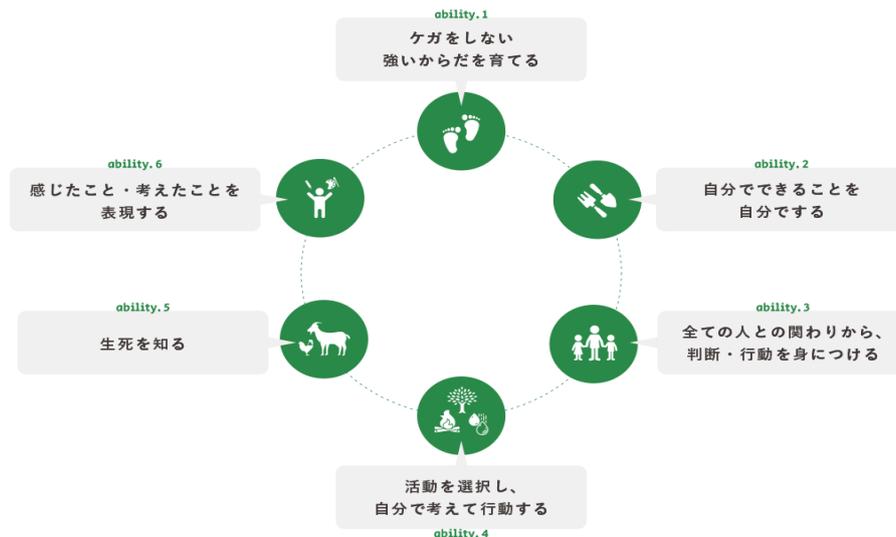
各園について取材をご希望のメディアの方は、広報部までお気軽にご連絡ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR 渋谷ビル13F）

広報部 松本 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp

どろんこ会グループの子育てとは



どろんこ会グループの子育てでは、就学前教育の前段階から非認知能力を育むことに重きを置いています。そのために必要な6つの力を身につけることを目標としています。

1. ケガをしない強いからだを育てる

園では裸足で過ごし、長距離散歩や木登り、リズム体操、雑巾がけ、座禅を取り入れています。

2. 自分でできることを自分でする

子どもたちは畑仕事をし、自ら育てたものを調理する体験もします。給食のお米は、新潟県南魚沼市にある自社の田圃で植え付けから精米、発送まで自給自足で行っています。子どもたちも田植え、稲刈りに参加します。

3. 全ての人との関わりから、判断・行動を身につける

0歳から5歳児が共に暮らす異年齢保育、そして障害の有無では分けないインクルーシブ保育を実践しています。地域の交流を大切に、商店街ツアーや青空保育を行っています。

4. 活動を選択し、自分で考えて行動する

火、水、土と関わることで、自然の事象に自ら気づき、考える力を養います。

5. 生死を知る

ヤギやニワトリなどの生き物の世話を通じ、命の重みを知ります。また、「命あるものを食している」ことを経験するための食育、命の大切さを学ぶ性教育も実施しています。

6. 感じたこと・考えたことを表現する

生活の中で自由に表現し創る環境を用意し、子どもが感じたこと、考えたことを表現できるよう保育計画を立てています。

どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社ゴーエースト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合、株式会社 Doronko Agri）は全国約140箇所の認可保育園、事業所内保育所、児童発達支援センター、子育て支援施設等を運営。次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。

1998年設立。職員数約2000人。利用者数約7000人（2022年5月現在）

HP : <https://www.doronko.jp/> Facebook : <https://www.facebook.com/doronkokai/>

Twitter : @doronko_offical Instagram : @doronko_official/

Youtube : <https://youtu.be/d-SV7YuQmIM>